

学校教育目標「考える子・たくましい子・思いやる子」



ぎんなんだより

横須賀市立公郷小学校 令和4(2022)年12月19日 No.9

校長 増田 喜明



ことばをみがき ころろをみがく

「ことばで励ます ～ プラストーク ～」

令和4年も残りあとわずかとなりました。子ども達は日々確かな歩みを進め、頼もしい成長を見せてくれて、本当に嬉しく思います。ご協力頂いた保護者の皆様にも感謝申し上げます。

この一年を振り返り、できるようになったことをたくさん褒めてあげてほしいと思います。その一方で、反省点を意識する振り返りももちろん必要です。しかし、子ども自身が、自分の弱みや拙さを十分にわかっているようなら、その伝え方も工夫したいと思います。例えば、「もうこれからは失敗しないようにしましょうね。」「次からは、決して間違わないようにしようね。」「気遣いある親心にも関わらず、子どもからは、「そんなこと、わかってる。」という反応が返ってくる場合があります。否定的に感じることばによって、やる気や勇気を挫いてしまうことがあるかも知れません。

プラストークということばがあります。肯定的な励ましを送ってあげることです。心の中では失敗しないように、間違わないようにと思っている、「安心して、大丈夫。次は絶対成功するからね。」と肯定的な表現で言ってあげることです。相手を信じることばの力が、子どもの自信を高めることにつながることを期待する表現です。

有名なプロゴルファー、タイガーウッズの話。勝敗が決まる最後のパットでのシーン。相手が外せば自分の優勝が決まる瞬間に、彼は相手のパットを見つめて、それがきれいに決まることだけをイメージし「入れ、入れ」と強く念じたそうです。「外せ。」と失敗を願うようなマイナスのことばは、自分自身にもはね返ってくるからだそうです。

これは脳科学的にも理にかなっているのだそうです。その理由はこうです。ことばというのは、それを発する人自身が一番それを聞いている。「入るな。外せ。」という否定的なことばを言ったとしたら、それは他者に向けて発したことばにも関わらず、脳はそれを自分に向けられたものと認知してしまう。そうして描かれたマイナスイメージは、脳の中に確実に、インプットされてしまい、それは少なからず自分自身にも悪い影響をもたらすということです。良いことばによって、良い行動がつくられるのだということです。改めてことばの大切さを感じます。

さて、最後にこんなことばを紹介して締めくくりといたします。
「体は食べたものの栄養で作られる。ころろは、聞いたことばでつくられる。未来は、語ったことばで開かれる」

令和5年の幕開けを楽しみに、子ども達にとって、素晴らしい未来が広がるよう願います。本年も本当にありがとうございました。



笑顔いっぱい 12月の公郷の子ども達の様子から

☒ 作品展 ～子どもらしさいっぱい～

想像と空想を巡らした絵画。おいしさが詰まったお弁当パック。楽しい表情の張り子のお面。デジタル的な表現を凝らしたアート等々。各学年らしさがあふれていました。子ども達の豊かで自由な発想が広がった校内☒作品展が開催されました。

今回の展示は、個人面談の機会を通して、保護者の方にご覧いただきました。子ども達の頑張りが伝わって、各家庭で励ましのことばをもらったことで、ますます次への創作意欲を高めていけたことでしょう。



一人一人の力作が勢ぞろいしました

6年生ボール大会 ～スポーツを通じた交流～



ボールを追う一生懸命な姿が輝きます

冬の寒さを忘れる、澄み渡る晴天に恵まれた日。6年生の子ども達にとり良き思い出となる、スポーツによる交流。衣笠小学校の子ども達を招いてのサッカーとバスケットボールの試合が行われました。シュートが決まる度に、大きな声援が湧きました。友達の頑張りを見て、飛び上がって喜ぶ子ども達。そして立派だったことはお互いのプレーにも称賛をおくる姿が目立ったことです。勝ち負けを超えた、精いっぱい力を出し尽くす満足感を味わうことができました。6年生は、ここで培ったチームワークを大切に、“卒業”というゴールを目指していきます。

令和5年1月の主な予定

- 1月10日(火) 授業開始
- 11日(水) 給食開始・あいさつ運動
委員会活動
- 16日(月) たてわり活動最終(1・4・6年)
- 17日(火) たてわり活動最終(2・3・5年)
- 18日(水) 代表児童会
- 24日(火) クラブ活動(3年生見学)
- 25日(水) 小中一貫教育の日
- 27日(金) 授業参観



読書感想画展

7日～10日・文化会館にて

児童生徒書写作品展

20日～24日・文化会館にて

児童生徒造形作品展

12日～30日・横須賀美術館にて